

# 東京オリンピックの実現に向けて

平成18年2月

東京オリンピック基本構想懇談会

# 目 次

はじめに .....	1
1 1964年の東京オリンピックからの歩み.....	2
2 なぜ、東京でオリンピックを開催するのか.....	3
3 オリンピックで変わる東京の姿.....	6
4 世界がはじめて遭遇するオリンピック.....	8
まとめにかえて.....	10
(参考資料)	
東京オリンピック基本構想懇談会議論の経過 .....	11
東京オリンピック基本構想懇談会設置要綱 .....	12
東京オリンピック基本構想懇談会委員名簿 .....	14

## はじめに

「再び、オリンピックを東京で。」

石原都知事の熱い思いを受けて集合した我々懇談会委員10名は、計4回にわたって合議を重ね、2016年の開催を目指すオリンピックの基本的な考えをここにまとめた。

大きな可能性と潜在力を持ちながら世界に存在感を示しえないこの国を、前回の日本開催からおよそ半世紀振りとなるオリンピックによって立ち直らせ、世界にその底力を示す。これが、報告書をまとめるに当たっての我々の基本認識である。

振り返れば、昭和39年10月10日、東京・神宮の杜の上空には、抜けるような青空が広がっていた。あのとき、多くの日本人が体の芯がしびれるような感動を覚えたのは紛れもない事実である。

しかし、40年後の現在、東京のみならず日本全体を覆っているのは、残念ながら閉塞感という名の曇天である。経済が多少上向いてきたとはいえ、日本は、目標を見失ったまま漂流を続ける不甲斐なさを、未だに拭い切れないでいる。

2016年は決して遠い未来ではない。わずか10年後の現実である。そこに照準を定め、都民・国民共通の新しい目標を目指して歩み始めることが、東京そして日本の存在を世界に披瀝する絶好の機会を創り出すと確信している。

## 1 1964年の東京オリンピックからの歩み

前回の東京五輪が開催されたのは、未曾有の敗戦からわずか19年後のことである。日本が戦後の荒廃からいち早く立ち直り、世界の檜舞台に再登場した瞬間であった。

五輪開催を契機とした東京改造は、今の目で見れば功罪半ばするところもあるが、都市建設のスピードとそこに投じられたエネルギーの凄まじさは、今の日本人が失ってしまったもののひとつである。また、同じ年に開業した東海道新幹線に表象されるように、日本の技術水準の高さは当時から頭抜けており、技術を磨く民族のDNAは現在にまで確実に受け継がれている。

東京オリンピックを機に、日本は非西欧世界ではじめてのグローバルプレーヤーとして認知されるに至り、開催から早くも4年目には、世界第二位の経済大国となった。

1970年代に入り、二度のオイルショックを持ち前の勤勉さと高度な技術力で切り抜けたものの、80年代後半のバブル期、地価と株価の急騰に浮かれた日本は、その崩壊によって大きく躓く。

「Japan as No.1」の誇りは地に落ち、国際競争力は急速に低下した。この間、急激な少子高齢化が進行するなか、経済は長期的に停滞し、右肩上がりの時代が終わったことを誰もが感じ取った。10年以上に及んだ低迷の時期は、自信喪失の10年でもあった。

現在、景気回復の足取りには明るい兆しが見えつつあるが、日本が有する潜在力の大きさを考えれば、物足りなさを感じざるを得ない。憂慮すべきは経済状況ばかりではない。精神の荒廃が日本人を蝕んでいる現状こそが問題である。昨今の欲に駆られた事件の数々を見るにつけ、日本人は、かつて備えていた礼節や品格を失ってしまったように感じる。

## 2 なぜ、東京でオリンピックを開催するのか

国民共通の大きな目標を失った日本人は、卓越した技術力や感性を持ちながら、自らのポテンシャルを過小に評価し、ことさらに萎縮してしまっている。こうした状況を打破するためにも、今こそオリンピックを契機に、日本再浮上に向けた第一歩を踏み出すときである。

オリンピックは、スポーツを通じて世界の平和に貢献する、世界最大のスポーツ・文化の祭典である。オリンピック開催は、次の世代に夢を与え、国民の間に一体感と高揚感を醸し出す。日本の高い技術力や日本人のフェアプレイの精神、無類のホスピタリティなどを組み合わせることで、オリンピックの新しいモデルを、さらには大都市の新しいあり方を提示することができる。オリンピックはまさに、成熟都市東京が国際的な責任を果たし、世界に貢献する「志の高い国」＝日本の存在を示す絶好の機会である。

21世紀の今日、我々は、都市の盛衰が国家の命運を大きく左右する時代に生きている。都市の力こそ、まさに国力である。この国において、国家を牽引し日本の存在を象徴する都市は、東京である。

こうした観点に立ち、オリンピック開催を契機として、東京の再生、ひいては日本再生を成し遂げる必要がある。

### 《東京の底力》

東京の現状を見れば、この都市が既にオリンピックを開催するに相応しい力を十分に備えていることは明らかである。

### 【都市機能の高密度な集中・集積】

政治、行政、経済の中核機能に加え、文化や芸術など様々な機能がこれほどまでに集中・集積した都市は、世界を眺めても東京

のほかには見当たらない。

また、正確で安全な公共交通ネットワークに支えられ、機能的な都市内移動が実現している。駅の数と集積の度合いは世界一である。もちろん、域外流入による交通渋滞は大きな課題として残っており、首都圏全体をカバーする環状道路ネットワークの整備が不可欠であることは論を待たない。

住む者にとっても、働く者にとっても、網の目のように張り巡らされた公共交通網はもちろん、コンビニや宅配便など生活に密着した上質なサービスを利用し、コンパクトシティでの快適な生活を享受できる条件が整えられている。東京は、世界の大都市のなかでも稀な治安の良さを誇っており、今後とも世界で最も安全な都市であり続けることが可能である。

首都圏3300万人のヒンターランドを背景に、国家規模の産業活動、経済活動が展開されている。ITなどの最先端技術に止まらず、ものづくりの原点ともいえる職人技が継承され、ロケットの先端部分に欠かせない「へら絞り」の技術など、他の追随を許さない日本独自の技術が集積している。

## 【東京に表象される日本文化の力】

日本人は古来から、異文化を排除することなく、むしろ積極的に吸収して独特の感性に磨きをかけてきた。日本人自身が多様な民族の混合の所産であるのは、極めて示唆的である。

江戸の浮世絵や、歌舞伎、人形浄瑠璃を持ち出すまでもなく、日本の文化はその独自性において他に類を見ない。現在では、音楽、映画だけでなく、一大産業に成長したアニメが世界を魅了し続けているが、その震源地もまた東京である。

日本人の心には、他者への理解や共感が今も息づいている。なかでも東京には、「江戸しぐさ」という他者を思いやる伝統がある。混雑した通りで肩を引いてすれ違うさりげない所作の美しさ

を思い起こす必要がある。世界各国から選手、来訪者を迎え入れる際、こうした日本人ならではの「もてなしの心」が真価を発揮する。

### 【開催都市の財政力】

オリンピック開催都市には、五輪開催に耐え得る財政力が求められる。日本国内を見渡したとき、胸を張って健全財政を謳える都市は東京以外にはない。

東京都は、過去7年間に及ぶ財政再建の取組みによって借金漬けの体質から脱し、健全財政への道筋を確かなものとしてきた。来年度、オリンピック開催準備基金を1000億円積み立てられることが何よりの証拠である。

以上のことを総合的に考え合わせ、東京こそ五輪開催に最も相応しい都市であると我々は結論する。

### 3 オリンピックで変わる東京の姿

オリンピックは都市の姿を一変させる大きな力を持っている。

オリンピック招致を契機に、東京の持つ可能性を存分に開花させ、東京を21世紀に相応しい近未来的な都市につくり上げていく。

オリンピックは、決して一過性のイベントではなく、大会前＝プレ、大会後＝ポストの長期的スパンで取り組むべきものである。

#### 《目指すべき東京の姿》

##### 【効率的で高機能な都市】

首都圏の骨格幹線道路は全て完成し、経済の高コスト構造や排ガスによる環境負荷を助長する渋滞は解消している。首都圏全体で空港機能が完備され、空のアクセスは拡充している。陸・海・空それぞれの物流機能は相互にネットワークを形成し、人とモノのスムーズな移動が国際競争力ある都市をつくり出している。

##### 【安全で安心できる都市】

東京の治安水準は依然世界最高レベルにあり、だれもが安心して都市空間を楽しむことができる。大規模テロなど万一の場合を想定し、日本が誇る最先端技術も組み合わせた万全の体制が整備されている。地震に限らず、台風や集中豪雨、都市型大規模災害などへの備えも十全に行われ、災害に強いまちが創造されている。

##### 【健康で安全な環境が確保された都市】

燃料電池や生物由来エネルギーの活用、環境対応車の一層の普及など、世界に誇る環境技術を駆使し、持続可能な都市となっている。東京に残る貴重な自然環境を、自然にふれあえる場として、継続的な管理方法や適正な利用ルールに基づいて自然を守りながら利用を図るなど、都市ならではの手法で保全、共生が図られている。

### 【産業や人材の潜在力を引き出す都市】

優れた発想力や高い技術力を持つ個人や企業がその能力を存分に発揮し、都市に活力を与えている。東京に集積するナノテクノロジー、IT技術、デザイン等の成長産業が、日本経済をリードし続けている。

### 【成熟社会に相応しい風格のある都市】

都市の「顔」となるランドマークやエリアが生み出されている。東京の重要な資源である水辺を活かした街づくりを進め、都市に新たなにぎわいと潤いを創り出している。それぞれのまちの成り立ちや個性に応じ、機能美と優雅さを合わせ持った街並みが数多く出現している。

### 【文化と技術が融合した都市】

日本の優れた技術をまちのなかで活用し、例えば、初めてまちを訪れた人でも、必要な情報をその場で手軽に手に入れられる便利で快適なまちが実現している。東京に若手アーティストが集い、才能を開花させ、世界に羽ばたく。近代的なものづくりやアニメの技法と、伝統文化が融合し、まったく新しい文化や生活様式が生み出されている。

### 【人間力と地域力を育むスポーツ愛好都市】

スポーツを通じて、我慢する心や礼儀正しさが子どもたちの中に生まれている。地域に根付いたスポーツクラブ等が、子育て、防犯などの地域のコミュニティ機能を担っている。大規模スポーツイベントにより、都市の素晴らしさを世界に発信するとともに、スポーツへの関心が高まっている。老若男女誰もが身近な地域で、多様なスポーツを気軽に楽しめる社会がつくられている。

## 4 世界がはじめて遭遇するオリンピック

東京のポテンシャルには計り知れないものがある。その可能性を解き放つことにより、まだ誰も見たことのないオリンピックを実現することができる。

懇談会の議論を通して、我々は、以下のような具体的な大会のイメージを確認することができた。

### 【世界一コンパクトな大会】

東京に集中・集積する都市ストックの高いパフォーマンスをもってすれば、世界一コンパクトな大会が可能である。都市再生によって生み出された用地や既存の競技施設を最大限に活かし、半径10キロ圏内にほとんどの競技場と関連施設が配置できる。これにより、選手の移動距離は世界のどの大会よりも短く、アスリートが安心して記録に挑戦できる最高の環境が提供できる。

### 【環境フレンドリーな大会】

自然エネルギーの供給基地、環境対応車など環境負荷の低い移動手段の確保など、最先端技術とコンパクトシティのメリットにより、世界が驚くような環境優先の大会を可能にする。

### 【ホスピタリティ溢れる大会】

日本独特の文化と和の心が、東京に集う全ての人々をもてなす。海外からの来訪者は、欧米の近代合理主義では捉えきれない、日本独特の感性や価値観を肌で感じる。文明の対立や衝突に明け暮れ、解決の糸口を見いだせないでいる世界に向け、平和や共生について重要な示唆を提供することができる。

また、社会貢献への意欲を持つ多くの日本人がボランティアとして大会運営等で活躍する。特に、豊富な経験や知識、国への誇りを

持った高齢者の活躍はおおいに期待できる。

### **【最先端技術がメリットを提供】**

安全性の高い大会運営や選手の万全の健康管理、オリンピック精神に則ったフェアな競争が、最先端技術によって実現している。選手、来訪者全てに、これまでのオリンピックにはなかった質の高いサービスが提供される。

### **【斬新で未来を予感させる演出】**

日本が誇るハイテク技術、卓抜したものづくり技術によって、世界でまだ誰もみたことのないオリンピックを演出する。競技場の観客や世界中の視聴者に対して、これまでにない競技観戦の方法が提供され、オリンピックをよりエキサイティングに楽しませることができる。

東京ならではの近未来型のオリンピックは世界に驚きと感動をもたらすとともに、東京発のライフスタイルやスポーツの楽しみ方など、新しい大都市モデルを提示する。

オリンピックを通じて創り出された「東京モデル」が、他の都市の手本となり、世界中の青少年にスポーツの機会を提供するなど、国際的な人材育成や交流を活性化させる。

東京オリンピックという夢の舞台が、日本、そして世界の未来を切り拓いていく。

## まとめにかえて

我々のプランを、東京都に託すこととする。

この報告書が、東京都の大会概要計画の一助となるとともに、これをきっかけに、都民・国民の間に議論が巻き起こり、東京オリンピック実現に向けた第一歩となることを願って止まない。

The SUN also rises .

2016年X月X日

近代オリンピックから100年、20世紀の東京オリンピックから50年。

東京には、あの日と同じ日本晴れが広がっているであろう。

東京オリンピックというゴールまで、バトンを繋いでいくのは、我々一人ひとりである。

平成18年2月

東京オリンピック基本構想懇談会一同